



Hiroshima  
(広島)

会報No.15

# 警察友の会

編集発行／広島県警察友の会

〒730-0013 広島市中区八丁堀16-14 第2広電ビル旭協業内 TEL082-223-1900

## 平成25年度 通常理事会会開催

会長挨拶 (要旨)



戴いていることに対し、心から敬意を表する次第であります。

本日の会議の議題は、既にご案内致しておりますとおり、平成24年度事業と収支の執行状況報告の定例議題など5議案でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

平成25年度「広島県警察友の会通常理事会」の開催を案内しましたところ理事の皆様には、ご多用の中をご出席いただき誠にありがとうございます。

日ごろ皆様方には警察友の会の運営に当たり、ご指導・ご支援を賜っておりまして、厚くお礼を申し上げます。

また、今回で3回目となりますが、警察友の会のご理解を深めていただくという趣旨で、新しく会員として加入を戴くことになっております皆様、そして地区会員の皆様にも本日ご出席をいただくことができました。深く感謝申し上げますとともに、各地区で会員の増強等の取り組みを

県下全体の会員数は年々減少しているところであり、現在、各県警察友の会が共通して抱えている問題でもあります。後程、事務局から説明がありますが、今年度も事業計画(案)の会務関係の中に、入会促進による拡充強化を掲げております。既に、会員の増強にご尽力をいただいているところもありますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。

先日、広島県警察友の会会合で警察本部長からお話を聞く機会があり、「県内の犯罪は10年連続で減少しているが、重要凶悪事件をはじめ手口を次々と変える振り込め等特殊詐欺事件、夫婦間DV・児童虐待事犯、サイバー事犯等、県民を脅かす身近な犯罪には組織を挙げて重点的に対応している。また、交通事故も11年連続で減少しているが、死亡事故は、昨年度増加した。高齢者と飲酒による死亡事故が増えているため、重点的に対策を講じている。」とのことでした。

警察においては、県民が望む安全・安心して暮らせる社会の実現にと日夜献身的なご努力を戴いているところであり、そのご労苦に対し、深く感謝しております。社会経済情勢の変化とともに、県民・市民の意識も多様化し、警察への要望意見等も大きく変わってまいりました。多種多様、複雑巧妙な事件事故も発生し、それに対しての果たすべき役割は、一層求められております。その最前線に立つ警察の方々を側面から支援・激励する警察友の会の役割りの重要性も増しております。

理事をはじめ、会員の皆様におかれましては、こうした情勢をご認識いただき、当警察友の会のさらなる充実強化へのご尽力と警察活動に対する一層のご理解ご支援を賜りますようお願いする次第であります。

終わりに、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念し、開会の挨拶と致します。

## 会員紹介

### ◆長束神社



宮司 村田 和之

#### □ 自己紹介

広島市安佐南区長束に所在する長束神社の宮司をしています。村田和之と申します。これまで個人会員として活動させて貰っていましたが、後継にも一端を担って貰うと云うことで法人会

員となりました。

#### □ 現在の仕事

長束神社宮司のほか、神道講演全国協議会参与、広島県神社庁理事、神社本庁参与、神社本庁研修所講師を務めております。

#### □ 警察支援への関わり

昭和40年度代後半より、諸々の警察活動に対する支援に関わるようになり、現在も安佐南区内の160余りの団体や機関で構成する“少年を育む安佐区民の会”会長として少年の健全育成に関わっています。

#### □ 今後の抱負

荒廃した世相、官民一体となり、安全・安心なまちづくりをはじめ、青少年の健全育成、日本民族の誇りを取り戻す活動にと力を注いでまいります。

### ◆株式会社安芸管理サービス



取締役会長 大成 景三

#### □ 自己紹介

私は、安芸郡海田町寺迫に所在する警備会社「株式会社 安芸管理サービス」を営む大成景三と申します。

#### □ 現在の仕事

平成5年（1993年）7月に安芸地区で唯一の安全産業として設立し、本年7月で20年目を迎えることができました。現在は会長職として勤務し、社会の信頼に寄与することを使命とする創造的企業を常に目指しています。

#### □ 警察支援への関わり

安芸地区交通安全協会の副会長として、地域の安全に関する活動を行っています。また、事業所では青色回転灯を搭載する車両による防犯パトロール事業を行政と一体となった展開を図り、地域住民への声掛け等を積極的に実施するなどコミュニケーション力の向上を目指し、警察官の最大のパートナーとなるべく日々研鑽に努めています。

#### □ 今後の抱負

犯罪の凶悪化・低年齢化が進む昨今、私たちが防犯に関する意識を高く持つことが大きく求められています。今日までの人生経験と事業所の安心・安全に関する知識を融合させ、地域社会に大きく貢献できるよう励んでゆく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

※No.6の長束神社は、個人会員から法人会員に変更されたものであります。